

NPO 法人「いのちのパン」の活動紹介 ～教会でフードバンク活動を実践する～

NPO 法人いのちのパン理事長
塩釜聖書バプテスト教会 主任牧師
大友幸証

講演概要

1. フードバンク活動内容 ※「NPO 法人いのちのパンについて」参照
 - a. 「となりびとに愛の手を」
 - b. フードロス削減への取組み
 - c. 毎月の食料品配布
 - d. ケアのこころも届ける食料支援
2. 設立の経緯
 - a. 包括的宣教への試みと取組み
 - b. 2011.3.11 東日本大震災発生
 - c. 台湾中華基督教救助協会との出会いで始まったフードバンク
 - d. 2015.8 フードバンク活動を NPO 法人化
 - e. 活動拡大の契機
 - ① ネットワーク
 - ② 法人化
 - ③ コロナ禍
3. 今後の展望と課題
 - a. フードバンク活動の課題
 - b. 教会の可能性
 - c. 「フードバンク拠点数拡大事業」※「趣意書」参照
 - d. 「となりびとに愛の手を」を共に

質疑応答

設立 2012年10月(ホープみやぎ) 2015年8月NPO法人取得

所在地 宮城県多賀城市笠神2丁目11-45 Tel022-362-7468 Fax 022-362-7497

設立目的

「この法人は、キリスト教精神に基づいて、社会の中で恵まれない環境にある方に対して、生活支援および定期的な交流に関する事業を通して、生活の向上に向けた励ましを行い、明るく豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

標語

「隣人に愛の手を」

体制

理事長はじめ理事・監事 8人 (常勤職員 0人)

活動ボランティアスタッフ 30人+α

運営

理事会 月1回(第2水曜日)12:30~14:00

オブザーバーとしてボランティアスタッフも参加

総会 4月の末か5月初めに開催

財務 寄付金は主に食料品購入に充てられている。有給スタッフは現在いない。

倉庫 キリスト教会施設の1室を使用。冷凍庫や棚に食品を備蓄管理。

基本活動

毎月、生活困難な25世帯に約3000円分の食料品ご支援している。その他、毎月児童養護施設、地域包括支援センター、就労支援事業所などの福祉施設、独居年配者やひとり親世帯、こども食堂などに、集めた食料品を無駄なく提供することでフードロス削減に努めている。

主な活動地域

亘理地区、仙南地区、若林地区、宮城野地区、岩切地区、多賀城・塩釜地区、七ヶ浜地区、東名・野蒜地区、石巻地区

昨年(2020年度)の食料品取扱量

受取 13.3t, 支援 13t

主な食品協賛企業 (敬称略)

コストコ富谷倉庫店、株式会社高浜、株式会社メゾンカイザー仙台、株式会社カーブスジャパン、株式会社井上、有限会社登米ライスサービス

コロナ禍支援事業

「コロナ禍における失職・減収世帯への食料支援事業」・・・コロナ禍関連で減収してしまった世帯に対して、緊急に1万円程度の食料品提供を行う事業。2020年9月から実施し、現在も継続中。

フードバンク拡大事業

「フードバンク拠点数拡大事業」・・・2021年度の新規事業。宮城県内の5つの教会とパートナーシップ協定を結び、それぞれの場所においてフードバンク活動を始めていただき、困窮者支援の輪を拡大する事を目的とする。食料品保管棚や冷凍庫などの備品、そして1年間分の活動費を提供する。

「フードバンク活動拠点数拡大事業」趣意書

2021年10月

NPO法人いのちのパン

代表 大友幸証

当フードバンク団体は3.11東日本大震災時に塩釜聖書バプテスト教会で開始された復興支援団体の後継団体です。2015年に正式にNPO法人を取得してこれまでフードバンク活動を続けてきました。現在の新型コロナウイルスの影響で、困窮状態に陥り手助けを必要としている方々が非常に増えています。私たちを含む多くのフードバンク団体が、それらの困っている方々に食料支援を続けています。

しかしながら、フードバンク活動は利益を生み出す活動ではないので、どこのフードバンク団体もとても疲弊しているように見えます。フードバンクのニーズは高いのですが、それを持続していくことが困難なのです。

そこで私たちが考えたのは、教会にフードバンク活動を始めていただいてはどうか、ということでした。理由としては、教会はすでに活動に必要な、人、建物、財源、そして隣人に仕える姿勢（ボランティア）を有しているからです。多くの一般の任意団体は、それらを確保することからまず始めなければいけません。教会はすぐにでもフードバンクを始められる可能性を持っています。もし教会が、地域貢献としてのこのフードバンク活動を宣教活動の一部として受け止める事ができるならば、牧師さんや教会員さんのボランティアがあるはずですので、人件費もかさむことはなく、持続可能な支援活動が続けられると考えます。

これから10年、20年と日本国内で持続可能なフードバンク活動が行われて行くとするならば、教会の力を抜きにして考えるのは実は難しいのではないだろうかと思え考えております。それほど教会には可能性があります。

以上のことから、当団体は一步を踏み出して、私たちの小さな経験を分かち合い、資金的なご協力もしながら、他の教会さんがフードバンクを始めるお手伝いをさせていただき事業を開始しました。それが「フードバンク活動拠点数拡大事業」です。

今回は、日本G&M文化財団(「聴くドラマ聖書」アプリでお馴染みかと思えます)からのご支援をいただいております。

ご興味のある教会の皆様対象に説明会を行います。まずは説明会にご参加いただければ幸いです。そして願わくば、共に「となりびとに愛の手を」のぼしていくパートナーシップ協定を結べればと願っています。ご連絡お待ちしております。

連絡先 電話 022-362-7468 メール info@breadoflife.jp